

# 安土長城ゆかりの下を歩く



**地域に守られてきた風景**

**A 音堂川湧水** おとんどかわゆうすい

音堂川の湧き水は、愛知川の伏流水で、年間を通じて殆ど水温が変わらない。地元の人たちの生活用水として、野菜を洗ったり、スイカを冷やしたり活用されている。昔ながらの風景が今に残されている。

**海外との文化交流の先駆け**

**B セミナリヨ跡伝承地** せみナリヨあと でんしょうち

天正8年(1580)、織田信長がイタリア人宣教師オルガンチノに新しい埋め立地を与え、東西文化交流の場となる日本で最初の神学校を建設。天正10年(1582)の本能寺の変後、安土城炎上と共に焼失。現在は伝承地が史跡公園になっている。

**天下統一を夢見た幻の城**

**C 安土城跡** あづちじょうせき

5層7重の天主をもつ近世城郭の先駆けと言われる安土城。天正7年(1579)の築城からわずか3年で焼失し、幻の名城となった。石垣だけが面影を残すが、発掘調査が進み、当時の姿が明らかになってきている。

**安土の文化・歴史を知りたければ**

**D 近江風土記の丘・文芸の郷** おうみふしきのおか ぶんげいのさと

安土城と観音寺山(櫛山)に囲まれた、歴史のふところとも言うべき探求スポット。原寸大に再現された安土城天主(5・6階部分)が展示されている「安土城天主信長の館」や、安土の歴史が太古まで遡れる「安土城考古博物館」などがある。

**西国三十三所第32番の札所**

**E 観音正寺** かんのんしょうじ

聖德太子による開創以来1400年以上もの歴史をもち、西国三十三所の札所の中でも最難所の一つとして知られる。本尊は、インドの白檀を使用した高さ6m、日本最大級純白檀造りの千手千眼觀世音菩薩坐像である。

**全国の佐々木さんゆかりの地**

**F 沙沙貴神社** ささきじんじゃ

古代には、地方豪族の沙沙貴山君が、中世において近江守護の佐佐木氏が氏神として崇敬してきた由緒正しい神社。佐佐木源氏発祥の地でもあり、今でも全国の佐々木姓の人々の参詣が絶えないという。

**安土城郭資料館** あづちじょうくしきょうかん

開館式1/10サイズの安土城と屏風絵陶板壁画を展示しています。喫茶やお土産コーナーもあり記念写真に、信長検定にもチャレンジしてみては?

9時~17時(受付は16時30分まで)  
月曜日(祝休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月4日) 0748(46)6512

**テレホンガイド**  
市外局番(0748)

**タクシー**

- 滋賀第一交通 0120-377-535
- 近江タクシー 0748-37-0106

**レンタサイクル**

- 安土駅前レンタサイクル 46-3266
- 安土観光レンタサイクル 0120-08-3190

**JR安土駅観光案内所** あづちえきかんこう あんないしょ

JR安土駅北口1階にあります。安土観光の資料やお土産コーナーもあります。(販売 16:30まで)

9:00~17:00  
年末年始(12月29日~1月3日) 0748-46-4234

